



谷一小だより

平成27年11月27日

No. 9

文責：中野

教育目標

- やさしく思いやりのある子ども
- きいきと主体的に学ぶ子ども
- から一杯運動し、丈夫な体をつくる子ども
- びのびと自分らしい生き方について考える子ども
- ころ広く集団の中で仲良く助け合える子ども

読書の効用について考える

秋は「読書の秋」ともいわれ、読書週間が始まりました。特に秋だけ読書をする訳ではありませんが、確かに読書をするには良い季節です。新聞にも雑誌にも読書関連の記事が多くなるのもこの季節です。「何のための読書か」ということになると、人により目的によりとても一口で言えるものではありませんし、またその効用についても「良書は最良の友である」とか「読書は歴史上の偉大な人物との対話である」とか、いろいろな人がいろいろなことを言っています。

しかしここでは子どもの読書についてもっと身近なことを書いてみたいと思います。

それは、本をよく読む子は必ず学力が伸びる、ということです。学年が進むほど確実に伸びてきます。学力を一本の樹に例えると、それは地上に見える枝や葉に当たる部分と、見えないけれど地中でそれを支えている根の部分とに分けて考えることができます。見える部分とは、例えば教科の社会ができるとか国語ができるということになりますが、そのことばかりに目を向けて一生懸命にやっているのにどうも成績が伸び悩むという時に、それを総合的に支える根が張れていないということがよくあるのです。その根をしっかりと張る方法の一つが「読書」なのです。「学力を伸ばすためにしっかり読書を」ということですが、「急がば回れ」という諺はここにもあてはまります。

更に具体的に書きましょう。高い学力を獲得しようと思えば必ず読む力が必要になります。考える力が必要になります。人は考える時必ず言葉を使って考えます。今学校では、情報教育といってパソコンなどの教育機器を使った教育がかなり進められています。しかし、まだまだ学校教育の大部分は言語中心の教育です。自分で読んで考えて理解していく、という知識獲得の方法が多くを占めています。そう考えると、知識を獲得するのに言語能力の高い子が有利になることは容易に理解していただけたらと思います。その言語能力の多くが読書によって身につけてくるのです。（「学ぶ楽しみ 生きるよろこび」参考）



11月17日（火）から3日間、読み聞かせウィークとして8時20分～35分の15分間を保護者を中心とした7名の読み聞かせボランティアの皆様の協力を得て、全クラスで「本の読み聞かせ」を実施しました。これまでも本校教師や外部団体による「読み聞かせ」を行っていますが、本校の子どもたちの読書活動についての関心と理解を更に深め、積極的に読書活動を行う意欲が高められたらと毎年この時期に行っています。読み聞かせボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



素晴らしかった市内親善音楽会

11月6日（金）、都留市内小中学校親善音楽会が、うぐいすホールで開催されました。約一ヶ月あまり、発声方法、歌う姿勢、表現の仕方、声を出す楽しさ等について合唱指導の白戸和子先生、4年の担任の先生方に指導を受け、発表に向けて一生懸命に練習に励んできました。全校朝会で本番のように発表もしました。こうしたこれまでの取組の成果が十分に発揮でき、4年生全員が心と声を合わせ、すてきな合唱や合奏が堂々とできました。4年担任の小幡先生、河西先生、井上先生そして子どもたちにとっても納得の出来映えだったと思います。親善音楽会への取り組みを通して一回りも二回りも成長したように思います。また、当日も多くの保護者の皆さんに応援にお出でいただきました。ありがとうございました。



すぎのこレストラン開店

すぎのこ学級の子も達と全校の子も達がふれあい、交流するため、大切に育てたトウモロコシで、ポップコーンを作り、全学級を招待する「すぎのこレストラン」が今年も11月16日、17日、18日の三日間、開店しました。すぎの子学級の子も達は、この日のためにとうもろこしづくり、ポスターづくりなど事前準備を行いました。今年は「メイプルリーフ味」と「のりしおバター味」の2種類でした。招待された子ども達はおいしいポップコーンをいただき喜んでいました。感想にはすぎのこ学級の子も達に対する感謝や喜びの声が多く出ていて、暖かい交流の一時となりました。



大塚製薬の夢教室を開催



11月5日（木）、大塚製薬の村上さんをお迎えして、5・6年生を対象に「夢を叶えるためにはどんなことが大切なのか」をテーマに「夢教室」を開催し、自分たちの夢について話し合いました。

月に水が存在することがわかった大塚製薬さんは、「月の水でポカリスエットの粉を溶かして飲んでみたい!」との願いのもと、様々な関係機関の協力を得て、来年の秋にロケットでポカリスエットの粉を月に送るという夢を実現させるところまでできました。その時に、子どもたちの書いたメッセージも一緒に月に飛び立ちます。きっと、来年の今頃はニュースになると思います。楽しみです。子どもたちの大きな夢も叶えられるといいですね。

アフリカ飢餓救援活動へのご協力ありがとうございました!

白米・・・63.2kg

募金・・・23,628円

「アフリカで苦しんでいるだれかのために・・・」
そんな気持ちで、お米やお金を用意してくださったことでしょうね。
遠く離れた国の誰かが笑顔になってくれることを願って・・・。
ご協力ありがとうございました。

